

ゲノム情報を利用した 作物の品種育成

ービジネスから国際貢献までー

主催／OKB大垣共立銀行、OKB総研、名古屋大学大学院生命農学研究科、東海バイオコミュニティ
共催／INPIT愛知県財総合支援窓口 後援／NPO法人東海地域生物系先端技術研究会(東海生研)

本セミナーでは、ゲノム編集を活用した新品種開発の最前線と、
既存産業との共創が生むアグリビジネスの新潮流をご紹介します。
高糖度トマトなどの事例紹介に加え、国際的な食料課題への貢献、
さらには品種の権利化・法令対応まで、研究から事業化までの要点を網羅した
農業関連事業者・研究者等に必見の内容です。

定員

40名

参加料

無料

日時

2026年2月6日(金)
15:00~18:00

会場

Tokai Open Innovation Complex
名古屋サイト(名古屋大学内)
名古屋市千種区不老町

第1部

事例紹介

「先端技術で挑む『未来の植物』創出
ー既存産業との『共創』が拓く
アグリビジネスの革新ー」

グランドグリーン株式会社
代表取締役 丹羽 優喜 氏



名古屋大学発ベンチャーとして、ゲノム編集などの
先端技術を活用し、迅速な品種改良による「未来の
植物」創出に挑む取り組みを紹介します。高糖度
トマトなどの事例を交えながら、既存産業との共創
によって技術を社会実装し、新たな価値を生み出す
事業戦略とアグリビジネスの最前線をお伝えします。

「マーカー選抜育種と
ゲノム編集による国際貢献について」

名古屋大学
生物機能開発利用研究センター
教授 芦苺 基行 氏



世界的な人口増加や環境変化により食料不足が
深刻化する中、アフリカを中心とした課題解決に
向け、ゲノム情報を活用したイネの品種改良の
最前線を紹介し、従来育種との違いやゲノム
解析の応用を解説し、迅速な品種開発による国際
貢献の取り組みをお伝えします。

「ゲノム編集・遺伝子組換え品種の
権利化×法令対応×事業化」

鈴木知財総合事務所
代表弁理士 鈴木 恵子 氏



ゲノム編集・遺伝子組換え品種の事業化に不可欠な
「権利化×法令対応×ガバナンス」を整理。育成者権
と特許の使い分け、職務育成者規程など、研究から
上市までの実務ポイントを解説します。

第2部

ポスター展示・名刺交換会

申込方法

二次元コードよりお申し込みください



申込期限

2026年1月23日(金)

問い合わせ先

東海バイオコミュニティ事務局 二村 京子
Email:t-biocom@agr.nagoya-u.ac.jp TEL:052-789-4186